

校長		教頭		教頭		担当	
----	--	----	--	----	--	----	--

学習計画

情報技術科	科目名	コンピュータシステム技術	担当者	
履修学科	インテリア科 デザイン科 調理科			
履修学年	第 3 学年	履修単位	2 単位	
概要及び目標	コンピュータに関する基礎・基本的な知識を学習させ、利用技術の向上を目指す中で、実際に活用する能力と態度を育て、検定取得意識の高揚を目指す。			
評価基準及び方法	定期考査6割、課題2割、授業態度2割で総合的に評価する。			
使用教科書及び教材	パソコン、ワープロ演習、表計算演習			
その他留意点	日本情報処理検定協会の検定取得対策も行う。			
月	単元名	学習内容と方法		備考
4	・授業オリエンテーション ・パソコンの一般知識	・機器取り扱い、授業の流れ・評価について学習する。パソコンの一般常識を学習する。		
5	・検索エンジン ・タイピング	・コントロールパネルの使い方、DLの有用性、ネット検索のいろはを学習する。		
6	・インターネットシステム ・文書作成、タイピング	・ネットワークの仕組みについて学習する。7月の検定試験への取り組みと演習を行う。		
7	・文書作成、タイピング ・日本情報処理検定	・文書作成、タイピングの演習を中心に、Wordの基礎を学習する。		検定実施月
8	夏期休業			
9	・HTML 演習 ・文書作成、タイピング	・インターネットのHPの成り立ち、ブラウザの種類などについて、基礎学習を行う。		
10	・HTML 演習 ・日本情報処理検定	・HP制作演習を行う。HTML言語の基礎的知識で課題制作を行う。		検定実施月
11	・表計算 ・文書作成、タイピング	・Excelソフトの基礎知識を学習する。関数・図形編集・グラフなどを学ぶ。		
12	・プレゼン ・文書作成、タイピング	・PowerPointをつかった基礎基本を学ぶ中で、プレゼンテーションの演習を行う。		検定実施月
1	・情報モラル、セキュリティ ・文書作成、タイピング	・情報モラル、セキュリティについて学習する。情報化社会の光と影を学ぶ。		
2	・文書作成、タイピング ・日本情報処理検定	・文書作成、タイピングの演習を中心に、日本情報処理検定の上位級取得を目指す。		検定実施月
3	・映像学習、まとめ・反省	・最新ITの現状を映像学習する。		

校長		教頭	
----	--	----	--

情報技術科	科目名	課題研究	担当者	
履修学科	情報技術科			
履修学年	第三学年		履修単位	4単位
概要及び目標	工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。			
評価基準及び方法	①日頃の課題製作活動をレポート等で報告し、レポート、作品、授業態度など総合的に評価する。 ②年間の課題研究活動をまとめ、研究発表会の発表態度や研究報告書についても総合的に評価する。			
使用教科書及び教材	①過去の研究報告書 ②教科書等			
その他の留意点 [課題・提出物等]	確実に研究発表を行い、研究報告書を提出すること。			

学習計画

週	単元	学習内容	教材	備考
1	オリエンテーション	・オリエンテーション ・過去の作品紹介	過去の研究報告書	
2		・教師側からの課題の紹介		
3		・班編成		
4		・生徒、教師の話し合い		
5	課題設定	・課題設定		
6				
7	基礎学習	・基礎学習①		
8		・基礎学習②		
9		・基礎学習③		
10	プロトタイプ作製	・プロトタイプ作製①		
11		・プロトタイプ作製②		
12		・プロトタイプ作製③		
13		・プロトタイプ作製④		
14	作品作製	・作品作製①		
15		・作品作製②		
16		・作品作製③		
17		・作品作製④		
18		・作品作製⑤		
19		・作品作製⑥		
20		・作品作製⑦		
21		・作品作製⑧		
22		・作品作製⑨		
23	作品完成発表・大会	・作品完成・発表・大会参加①		
24		・作品完成・発表・大会参加②		
25		・作品完成・発表・大会参加③		
26		・作品完成・発表・大会参加④		
27	発表準備	・最終発表(プレゼンテーション)の準備		
28	本発表	・本発表		
29	レポート作成	・レポート作成①		
30		・レポート作成②		
31		・レポート作成③、 レポート提出①		
32	レポート修正提出	・レポート修正①		
33		・レポート修正②		
34		・レポート修正③		
35		・レポート提出 レポート提出②(最終提出)		

				校長	教頭
情報技術	科	科目名	実習	担当者	
履修学科		情報技術科			
履修学年		第3学年	履修単位	3単位	
概要及び目標	工業の各専門分野に関する基礎的な技術を実際の作業を通して、総合的に習得させ、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。				
評価基準及び方法	①作品製作、毎時間のレポート、各発表、報告書の評価を中心とし、授業態度、意欲、出席等を加味し総合的に評価する。 ②欠課した生徒は、確実に補習を行い、欠課した時数を補い、課題を終了する。 ③②ができない生徒は、単位を認定しない場合もある。 ④作品は確実に動作すること。				
使用教科書及び教材	① 実習の手引き、研究に必要な参考書及び教材				
その他留意点	① 実習を進めるにあたり、協力して取り組む。				

学習計画

月	単元名	学習内容と方法	備考
4	・オリエンテーション ・JW-CAD①	<b>JW-CAD</b> ①線の練習	
5	・データベース① ・VBAプログラミング① ・製図① ・JW-CAD② ・データベース② ・VBAプログラミング② ・製図② ・JW-CAD③ ・データベース③	②円、円弧、曲線 ③水平、垂直の寸法 ④寸法の記入 ⑤複線の練習 ⑥伸縮の練習 ⑦コーナー処理 ⑧面取りの文字の練習 ⑨複写の練習	
6	・VBAプログラミング③ ・製図③	<b>データベース</b> ①アクセスの基礎知識	

7	<p>JW-CAD④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ データベース④</li> <li>・ VBA プログラミング④</li> <li>・ 製図④</li> </ul> <p>・ JW-CAD⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ データベース⑤</li> <li>・ VBA プログラミング⑤</li> <li>・ 製図⑤</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>②データ入力 1</li> <li>③データ入力 2</li> <li>④クエリで情報抽出 3</li> <li>⑤フォームからデータ入力 4</li> <li>⑥レポートの情報 5</li> <li>⑦リレーショナルデータベース 6</li> <li>⑧クエリの条件指定 7</li> <li>⑨マクロを使う 8</li> </ul>	
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JW-CAD⑥</li> <li>・ データベース⑥</li> <li>・ VBA プログラミング⑥</li> <li>・ 製図⑥</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>VBA プログラミング</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①マクロ作成の基本</li> <li>②記録マクロの活用</li> <li>③VBA の基本</li> <li>④セルや行・列の操作</li> <li>⑤表の見た目の操作</li> <li>⑥シートやブックの操作</li> <li>⑦条件分岐と繰り返し</li> <li>⑧データの並べ替え・抽出</li> <li>⑨シートの印刷</li> </ul>	
10			
11			
12			
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JW-CAD⑦</li> <li>・ データベース⑦</li> <li>・ VBA プログラミング⑦</li> <li>・ 製図⑦</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>製 図</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①3DCADソフトの基本的操作 1</li> <li>②3DCADソフトの基本的操作 2</li> <li>③フラジンの作図</li> <li>④継ぎ手の投影方法</li> <li>⑤電子部品</li> <li>⑥フリップフロップ回路</li> <li>⑦直流増幅回路</li> <li>⑧第三角法</li> <li>⑨六角ボルトナット</li> </ul>	
2			
3			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JW-CAD⑧</li> <li>・ データベース⑧</li> <li>・ VBA プログラミング⑧</li> <li>・ 製図⑧</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JW-CAD⑨</li> <li>・ データベース⑨</li> <li>・ VBA プログラミング⑨</li> <li>・ 製図⑨</li> </ul>		

校長		教頭		教頭	
工業科	科目名	プログラミング技術	担当者		
履修学科	情報技術科				
履修学年	第3学年	履修単位	2単位		
概要及び目標	プログラム言語であるC言語を用いて、プログラムを作成するためのプログラミング技法を学習し、プログラミングができる基本的な資質の向上や能力を育てる。				
評価基準及び方法	定期考査 60%、提出物やその他授業態度等 40%で総合的に評価する				
使用教科書及び教材	実教出版「工業333 プログラミング技術」				
その他留意点					

学習計画

月	单元名	学習内容と方法	備考
4	ネットワークの基礎	ネットワークの基礎、階層的なファイルの取り扱いについて	
5	ネットワークの基礎、ネットワーク上のプログラミング	ファイルの保護モード、ネットワークに接続されているコンピュータ間でデータのやり取りを行うプログラムについて	
6	コンピュータの遠隔操作	テルネット、ftp について	
7	制御用 IC の構成	制御用 IC の構成例、ファイルレジスタの構成例、制御用 IC のピン配置の例について	
9	制御用プログラムの開発手順	プログラムの記述、コンパイル、制御用 IC への転送、動作確認、プログラム開発の流れについて	
10	入出力ポートの設定	SFR の例、SFR をもつ制御用 IC の入出力設定について	
11	制御用 IC を使用した制御	LED 点滅回路の例、製作例、プログラム、電子さいころの製作について	
12	ウインドウ画面	ウインドウ画面の構成、クライアント座標について	
1	グラフィックの基本	点の描画、乱数の発生、基本図形の表示	
2	グラフィックの応用	関数曲線、グラデーション、機何図形、ビットマップの表示について	

校長		教頭	
----	--	----	--

情報技術科	科目名	ハードウェア技術	担当者	
履修学科	情報技術科			
履修学年	第三学年	履修単位	2単位	
概要及び目標	1. ハードウェアに関する知識と技術を習得させる。 2. 習得した知識と技術を実際に活用できるようにする。			
評価基準及び方法	1. 定期考査60%、授業態度提出物等40%で総合的に評価する。 2. 評価基準は、学校内規による規定に準ずる。			
使用教科書及び教材	1. 実教出版「工業360 ハードウェア技術」			
その他の留意点 [課題・提出物等]	1. 演習ノート、課題プリント、ノート等の提出。 2. 授業における態度、発問等における返答。			

学習計画

月	単元名	学 習 内 容	備考
4	<b>第4章 機械語の機能と働き</b> 1節 機械語のしくみと機能  2節 アセンブリ言語によるプログラミング	「ハードウェア技術」を学ぶにあたって  1. 機械語とアセンブラ 2. 中央処理装置の構成  1. アセンブリ言語の記述方法	
5		2. アセンブリ言語の命令の種類	
6		3. アセンブラ命令	
7		4. 機械語命令	
9	3節 プログラムの実際  <b>第5章 コンピュータによる制御技術</b> 1節 制御の概要	5. データの転送命令 6. 演算命令 7. 分岐命令 8. 繰り返し処理 9. サブルーチン 10. その他の機械語命令 11. マクロ命令  1. 数値計算処理 2. 最大値 3. 並び替え	
10	2節 マイクロコンピュータによる制御	1. シーケンス制御 2. フィードバック制御 3. 制御用コンピュータ  1. マイクロコンピュータによる制御の構成 2. インターフェイス 3. D-A変換機とA-D変換機	
11	<b>第6章 マイクロコンピュータ組込み技術</b> 1節 組込みシステム	4. アクチュエータ 5. センサ 6. 割込み処理  1. 組込みシステムの概要	
12	2節 組込みハードウェア	2. 組込みシステムの開発	
1	3節 組込みソフトウェア	1. 組込み用マイコン	
2		2. 組込みハードウェアのLSI化	
3		1. 組込みソフトウェアの基本	
		2. 組込みシステム用OSの機能	
		3. 開発環境	
		4. C言語によるプログラミング	

		校長		教頭		教頭	
工業科	科目名	ソフトウェア技術		担当者			
履修学科	情報技術科						
履修学年	第三学年	履修単位		2単位			
概要及び目標	1. アプリケーションプログラムやデータベースシステム、ネットワークシステムに関する基礎的な知識と技術を習得させ、ソフトウェアを総合的に理解させる。						
評価基準及び方法	1. 考査評価、提出物評価、学習への取り組み状況などによる総合評価。 2. 評価基準は、学校内規による規定に準ずる。						
使用教科書及び教材	1. 7実教 工業361 実教出版「ソフトウェア技術」						
その他の留意点 [課題・提出物等]	1. 演習ノート、課題プリント、ノート等の提出。 2. 授業における態度、発問等における返答。						

学習計画(週タイプ)

【3学年】

週	単位 指導時間	学 習 内 容	備考
1	1.0	オリエンテーション	
		第1章 ソフトウェアの基礎	
		1節 ソフトウェアの重要性	
	0.5	1. ハードウェアとソフトウェア	
	0.5	2. ソフトウェアの基本	
2	1.0	2節 ソフトウェアの分類	
		1 ソフトウェアの分類	
	0.5	2 OS	
	0.5	3 ミドルウェア	
3	1.0	4 プログラミングツール	
		3節 コンピュータシステムの処理形態	
	1.0	1 コンピュータネットワークシステム	
4	1.0	2 コンピュータの配置による分類	
	0.5	3 オンライン処理とオフライン処理	
	0.5	4 コンピュータシステムの利用形態	
5	1.0	5 その他の処理システム	
		第2章 オペレーティングシステム	
		1節 OSの概要	
	1.0	1. OSの働き	
6	1.0	2. OSの目的	
		2節 OSの機能	
7	2.0	1 制御プログラムの働き	
8	2.0	2 ジョブとタスク	
	1.0	3 タスク管理	
9	1.0	4 記憶管理	
	1.0	5 データ管理	
10	1.0	6 入出力管理	
	1.0	7 通信管理	
11	1.0	8 運用管理	
	1.0	9 障害管理	
		第3章 ソフトウェアの管理	
		1節 インストールと環境整備	
12	1.0	1. コンピュータシステムとOSの選択	
	1.0	2. インストール	
		2節 小規模ネットワークの編成	
13	2.0	1 ネットワークの基礎	
14	2.0	2 サーバの管理	
15	1.0	3 利用者管理	
		3節 セキュリティ管理	
16	2.0	1 OSのセキュリティ	
	1.0	2 ネットワークセキュリティ	
		4節 障害管理	
17	2.0	1 システム状況の監視	
18	1.0	2 障害情報の収集と対策	
	1.0	章末問題	

			第4章 情報セキュリティ	
			1節 情報セキュリティの基礎	
19	1.0		1 情報セキュリティの基本概念	
	1.0		2 情報システムにおける危険性	
20	1.0		3 感染経路とセキュリティ対策	
			2節 情報セキュリティ技術	
	1.0		1 暗号化技術	
21	1.0		2 認証技術	
	1.0		3 暗号化技術の応用	
22	1.0		4 ネットワークセキュリティ	
			3節 情報に関する法規	
	1.0		1 情報セキュリティ管理	
23	1.0		2 ソフトウェアの法的保護	
	1.0		3 情報セキュリティに関する法律	
24	1.0		4 情報セキュリティ関連制度	
	0.5		5 標準化団体と規格	
	0.5		章末問題	
			第5章 ソフトウェアパッケージの運用	
			1節 ソフトウェアパッケージ	
25	2.0		1 ソフトウェアパッケージの分類	
26	2.0		2 ソフトウェアパッケージの特徴	
27	2.0		3 各種ソフトウェアパッケージ	
			2節 アプリケーションパッケージ	
28	2.0		1 いろいろなアプリケーションパッケージ	
29	2.0		2 アプリケーションパッケージの活用	
			3節 情報の収集と活用	
30	2.0		1 情報の収集と活用のためのコンピュータシステム	
31	2.0		2 情報の収集	
32	2.0		3 情報の加工	
33	2.0		4 情報の整理	
34	2.0		5 情報の発信	
35	1.0		6 Webブラウザを用いたクラウドコンピューティングの利用	
	1.0		章末問題	
合計	70.0			



			校長		教頭	
情報技術科	科目名	エンターシステム		担当者		
履修学科	情報技術科					
履修学年	第3学年		履修単位	2単位		
概要及び目標	1. ITパスポート試験に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。					
評価基準及び方法	1. 考査評価、提出物評価、実習への取り組み状況などによる総合評価。 2. 評価基準は、学校内規による規定に準ずる。					
使用教科書及び教材	1. 技術評論社出版「令和5年度 栢木先生のITパスポート教室」					
その他の留意点 [課題・提出物等]	1. 演習ノート、課題プリント、ノート等の提出。 2. 授業における態度、発問等における返答。					

学習計画(週タイプ)

週	単位 指導時間	学 習 内 容		備考
1	1	オリエンテーション		
		第7章 アルゴリズムとプログラミング		
2	2	1.	アルゴリズムと流れ図、構造化プログラミングの特徴	
3	2	2.	多重ループと配列、流れ図におけるトレース	
4	2	3.	プログラム言語の概要、種類	
5	2	4.	低水準言語、高水準言語、オブジェクト指向言語について	
6	2	5.	言語プロセッサ、インタプリタ、コンパイラについて	
	1	◎	第7章のまとめ	
		第8章 マネジメント		
7	2	1.	システム開発における開発プロセス	
8	2	2.	テスト管理と運用	
9	2	3.	システム開発技法とユーザインターフェースについて	
10・11	4	4.	コード設計、プロジェクトマネジメント	
12・13	4	5.	プロジェクトマネジメントの評価法、工程管理	
14	2	6.	サービスマネジメントとシステム監査	
15	2	◎	第8章のまとめ	
		第9章 企業活動と法務		
16・17	4	1.	企業会計	
18	2	2.	在庫の評価方法、減価償却	
19	2	3.	知的財産権、特許、各種契約	
20	2	4.	労働基準法	
21・22	4	5.	コンピュータ犯罪と刑法	
23	2	6.	データ整理技法	
24	2	◎	第9章のまとめ	
		第10章 経営戦略とシステム戦略		
25	2	1.	企業活動と組織	
26	2	2.	ビジネス戦略と経営管理システム	
27	2	3.	情報システム戦略	
28	2	◎	第10章のまとめ	
		第11章 中間対策		
29	2	1.	データベース	
30	2	2.	業務プロセスとモデリング	
31	2	3.	表計算 QC7つ道具とグラフ	
32	2	4.	各種計算方法(採算計算、チェックディジット、在庫計算)	
33	2	5.	会計と財務(利益と損益分岐点)	
34・35	4	◎	過去問題(分野:戦略・マネジメント・テクノロジー)	
合計	70.0			